

2023年1月号

馬場川新聞

あなたも「めぶく。」しませんか？



BABAKKAWA
URBAN DESIGN
PROJECT

官民連携の ハーモニー

2023年11月の竣工に向け、1月着工！

地域が三位一体となったまちづくり。

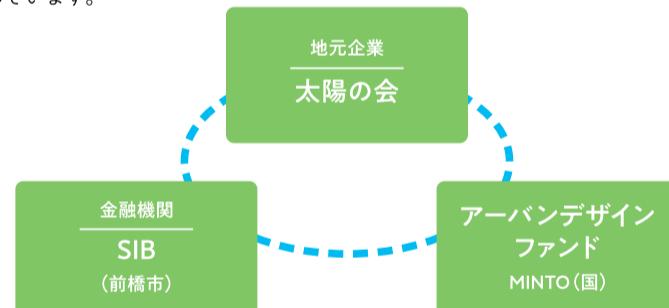
2021年3月31日に計画着手を報告した「馬場川通りアーバンデザインプロジェクト」の改修工事が、いよいよ着工となりました。当初予定から2ヵ月遅らせての着工となりましたが、竣工は今秋11月と変わらず、工期を大幅に短縮しました。また工事計画の見直しにより、夜間工事や車両通行止め等、近隣の皆様の日常やご商売への影響も最小化できています。

本プロジェクトは、「前橋市アーバンデザイン」の具現化のため、市街地中心部にある馬場川通り遊歩道公園において、民間資金により公共空間をリニューアルするものです。コロナ禍のただなかにあった2年間、計画改善や社会実験等のプロジェクトを、官民が連携し一体となって推進してきました。民間企業から募った資金をもとにMDCが事業主体となり改修工事を進め、完成後も日常管理を地元が、中長期管理を市が担当します。また、地域関係者との合意形成のために準備委員会を発足させてまちづくりセミナーやワークショップを通して社会実験を企画・開催。「民」の意見がプロジェクトに反映されています。まさに、産・官・民が三位一体となった全国的にも先進的な「まちづくり・まちづかい」の取り組みとなっています。



資金調達も民がリードして、官が後押し。
まちづくりのための新たな“元気玉”基金も設立。

前橋の企業家有志の基金「太陽の会」からの出資を元に、まちづくり分野では全国初となる成果連動型民間委託契約(SIB)を活用するほか、「前橋市アーバンデザインファンド(通称:元気玉基金)」を設立し、市民や国からの支援も受けて新しい資金調達の方法を実践しています。



コンセプトは「つながりながら成長する拠点づくり」

最終的なデザインプランは、地域関係者様、準備委員会に参加された皆様の意見が反映され、時間・空間・文化の3つのつながりからなるコンセプトに基づく美しい景観と安全に配慮された素敵な空間となります。



馬場川通り、中央通りから千代田通りまでの約200mが
レンガとベンチのリラックス空間に。



レンガ敷きで
車道と歩道がフラットに。



水や緑に近づき、
ゆっくりできるデッキとベンチ。



ベビーカーや車いすでも
楽しめる場になります。

いよいよ着工！プロジェクトスタートからの道のり



詳しくはMDCのホームページで <https://www.maebashidc.jp/category/urbandesign/page/2/>